



第三中学校だより

校訓

○健康な体

○豊かな心

○たゆまぬ学習

学校教育目標 **気づき・考え・挑戦する** ～新時代を生きる力を創造する～

和光市立第三中学校 〒351-0104 埼玉県和光市南2-2-1
Tel 048-461-3306 ホームページ <http://3chu.wako-city.ed.jp/>
なやみごと相談メール j3-3chu@wako-city.ed.jp 相談室 TEL461-6698

令和5年8月29日発行

「挑戦する」ことのすめ

校長 近藤 克代

残暑お見舞い申し上げます。暦の上では「処暑」が過ぎ、秋に向かって季節が変わる時期なのかもしれませんが、真夏の太陽はなかなか幕を下ろしてくれそうにありません。もうしばらくの間は、暑さには十分気をつけなければならない日が続きそうです。夏は草木（種類によります）がぐんぐんと根を張り、高くたく成長していくのが顕著に見える季節ですが、人も同じかもしれません。特に中学生のこの時期は、いわゆる思春期として心身ともに変化し、人それぞれに成長する（できる）時でもあります。



夏休み中に、昨年度に引き続き保護者・地域の方にご協力をいただき、早朝から校舎周辺の除草作業を行うことができました。更に今年度は、小学校との連携を図るため第四小学校の算数教室に生徒が学習支援の手伝いに参加するなど今年の夏休みは、地域との活動（連携）からスタートすることができました。そして、生徒にとって世代交代を通して自覚と責任を醸成する大切な時期でもあります。特に部活動では県大会やコンクールなどで、上級生として後輩に立派な姿を示し、次なる挑戦や目標設定のきっかけを残してくれました。その他の活動においても一つの区切りを終え、新たなスタートを切り始めるのも、夏の恒例の出来事の一つかもしれません。

ところで、時代はSociety5.0(*)を迎えようとしています。そのSociety5.0には「主体性」「創造力」「課題設定・解決能力」「表現力」「チームワーク力」「リーダーシップ」などの資質・能力を期待されています。では、これらの資質・能力は、いつ・どこで・どのようにして身に付けられるのでしょうか。ある高校野球チーム監督の指導法がクローズアップされていますが、その中でも「主体性」という言葉が何度も紹介されています。監督が選手に求めている「主体性」とは、他者と比べるのではなく、自分なりの考え（アイディア）や強みを知ることつまり、考える力が自然と身につく「自分を客観視」できることであり、目的をもって行うことで当事者意識を強く持つことができるなど話をしていました。私はこの話を聞いた時、冒頭の「挑戦する」という言葉が浮かんだのです。「挑戦する」とは、様々な捉え方があります。例えば、今まで考え付かなかった新しいことに取り組んでみることも挑戦ですし、どうしたらうまく継続できるのかを考えることも挑戦。苦手なことを、失敗を恐れずやってみることも挑戦ですし、得意なことをさらにレベルアップしていくのも挑戦です。つまり人との関わりの中で、主体性を持ちながら学校教育全般に臨んで行くことが、挑戦につながり、先に述べた資質・能力を身に付けられる手立ての一つかもしれないと思っています。

さて、本日から2学期が始まります。生徒の主体性を引き出す学校教育活動を目指し、生徒の「挑戦する」意思を尊重・支援できる2学期となるよう優勝監督の涙のインタビューを見て、生徒の「主体性」願い、期待をしたいです。2学期もよろしくお願いたします。

*Society5.0：人が快適で活躍できる社会を実現するために経済発展や社会問題の解決にテクノロジーを最大限に活用していくこと